

武士の成長と院政

今日の問い

武士はどのようにして現れ、院政のもとでどう力をのばしたのだろう。

左の問いに答えるつもりで、右のノートの下線に語句を書こう。最後に「まとめ」で今日の問いに答えよう。

問い・キーワード

ノート 下線に語句を書こう

1 武士はどうして現れたか。

武士団・平将門の乱

地方の豪族や有力な農民が武装し、武芸を専門とする ¹ 武士 が現れて
² 武士団 をつくった。10世紀中ごろ、関東で ³ 平将門の乱、瀬戸内海で
⁴ 藤原純友の乱 が起こり、朝廷は武士の力でしずめた。東北では
⁵ 奥州藤原氏 が平泉を拠点に栄えた。

2 院政とはどんな政治か。

白河上皇・1086年

1086年、位をゆずった ⁶ 白河上皇 が ⁷ 院政 を始めた。上皇のもとには多くの
⁸ 荘園 が集まり、大きな寺社は ⁹ 僧兵 を使って要求を通そうとしたため、
上皇は武士を重く用いた。

年表 — この単元のできごと

10世紀中ごろ

平将門の乱・藤原純友の乱

11世紀後半

摂関政治がおとろえ始める

1086

白河上皇が院政を始める

まとめ

今日の問いに答えよう。「武士団」「院政」の2語を使って、2文で書きなさい。

(例) 地方の豪族や有力な農民は土地を守るために武装し、武士団をつくって力をつけた。院政が始まると、上皇は武士を重く使い、源氏や平氏が都で力をのばした。

